

平成27年度 障害者支援施設つかわき 事業報告書

1. 従業者配置

単位：人

職種	平成27年 4月1日	入職	退職	平成28年 4月1日
施設長（管理者）	1			1
サービス管理 責任者	1			1
主任生活支援員	2			2
生活支援員	14	3	1	16
看護師 兼 機能訓練指導員	1			1
事務長	1			1
事務員	1			1
栄養士	委託給食	2	—	2
調理員	委託給食	2	—	2
計	21	7	1	27

- ① 施設長は相談支援事業所つかわきと兼務です。
- ② 施設長・事務長・事務員は生活支援員を兼務しています。
- ③ 委託給食は平成28年3月31日で終了しました。

2. 福祉サービスの利用状況

① 施設入所支援（定員50人）

平成27年4月1日の利用者数は48人、平成28年4月1日の利用者数は48人で同数です。異動の内訳は次のとおりです。

終了	平成27年 4月	女性	病死
開始	平成27年 4月	男性	グループホームから

② 生活介護（定員50人）

平成27年4月1日の利用者数は49人、平成28年4月1日の利用者数は49人で同数です。内訳は施設入所支援と同じです。

※通所で利用される方は1人です。

③ 短期入所（定員4人）

利用者数	1人	利用延べ日数	158日
------	----	--------	------

※利用者1名は生活介護通所利用者です。

※前年度利用日数合計は126日でした。

3. 主な行事の実績

実施月	行事名	備考
4	開所記念式	
	施設親善球技大会	桜島溶岩グラウンドにて
5	県障害者スポーツ大会	県営鴨池陸上競技場
	風水害避難訓練	
	じょうもん市場春祭り 出店	
	縄文の森 春祭り 出店	
6	害虫駆除	
	田植え	
	健康診断・皮膚科往診	
7	地震避難訓練	
	キャンプ（1泊2日）	観音池公園（都城市）
	キャンプ（3泊4日）	栄松海水浴場（日南市）
8	ワックス清掃	
	貯水槽清掃	
9	塚脇小学校合同運動会	
	塚脇地区 敬老会 交流	
	ボランティア清掃	国分海浜公園
	火災避難訓練（夜間想定）	
10	福山高校夢プラン交流会	
	ハッピーフェスタ 出店	鹿児島市
	縄文の森 秋祭り 出店	
	わくわくスポーツ大会	上床公園運動場（溝辺町）
11	つかわき秋祭り	事業所内
	霧島ふるさと祭り 出店	
	インフルエンザ予防接種	
12	クリスマス会	鹿児島空港ホテル
	健康診断	
	劇団四季公演観覧	鹿児島市
	イオンサンタ慰問来所	イオン隼人店スタッフ
	ワックス清掃	
	大掃除・貯水槽清掃	
1	初詣	照国神社
2	霧島市健康福祉祭り 出店	
3	縄文の森 駅伝大会 出店	

4. 日中活動

生活介護における日中活動を次のとおり実施した。

① ひまわり班

主として自閉症利用者を中心に、日常生活上の支援を行うとともに情緒の安定と健康を維持するための機能訓練や創作的活動等の支援を行い、健康で豊かな楽しい生活が送れるよう支援を行った。

② なでしこ班

主として高齢や病弱等により、体力が減退している利用者を対象として、日常生活上の支援をはじめ創作的活動等の支援や身体機能維持向上を図るためのリハビリテーション活動を行うとともに、認知症予防のための学習指導など、健康で豊かな楽しい生活が送れるよう支援を行った。

③ たいよう班

主として稼働年齢層の利用者を対象に、日常生活上の支援や創作的活動等を行うとともに、企業との契約栽培による落花生や焼酎原料となる甘藷の生産をはじめ、野菜等の計画的な生産・販売活動など健康で豊かな楽しい生活が送れるよう支援を行った。

④ こすもす班

主として稼働年齢層の利用者を対象に、日常生活上の支援や創作的活動等を行うとともに、パンの生産技術の向上をめざし、計画的な生産販売など実践的な活動など健康で豊かな楽しい生活が送れるよう支援を行った。

本年度は、パンの販売促進を重点目標とし、その手段として霧島市内移動販売や県内のイベントによる出店販売を実施し、売上増加に努めた。

⑤ さくらんぼ班

主たる活動の内容は、自閉症利用者3名を含む繊細な作業得意とする利用者を対象にパンの袋にシールを切り袋に貼る作業や、ビーズ製作を行い、健康で豊かな楽しい生活が送れるよう支援を行った。

その他の日中活動は次のとおりです。

- ① ものづくり体験教室（花器づくり、アロマセラピー、整体等の専門的講師を招く）を毎月1回～3回開催し、利用者の創作的活動の活性化に努めた。
- ② 毎週金曜日に美化活動・クラブ活動を実施し、環境整備と余暇支援の充実に努めた。

5. 医務

- ① 嘱託医（ハートフル隼人病院理事長江川医師）による健康管理を毎月実施した。
- ② 利用者及び従業員の健康診断を6月と12月に実施した。
- ③ 皮膚科往診を6月に実施した。
- ④ インフルエンザ予防接種を11月に実施した。
- ⑤ 通常健康管理においては観察を怠らず、早期発見と受診により適切な対応を行った。

⑥ 入院実績は次のとおりです。

利用者	診療科	入院期間
HMさん（女性）	精神科	11日
TKさん（男性）	内科	34日
TNさん（男性）	精神科	22日

6. 給食

給食においては委託給食業者が実施した。

利用者や従業者から給食の質に関する苦情があり、また、業者間との連携が上手く取れないなどの問題が多く、総合的に判断し、委託給食は平成27年度で終了することとなった。

7. 防火防災

① 利用者の生命・財産を守るための火災避難訓練を消防署立会も含め、9月（夜間想定）と11月に実施した。また、風水害避難訓練を5月に、地震避難訓練を7月に実施した。

② 消防設備点検

委託業者により法定の点検を年2回実施し、消防署へ報告した。結果は全て良好で異常なし。

消防署の立ち入り検査においては

① ボイラー室の危険物貯蔵外壁表示が消えている。

② 居室1箇所の火災感知器が無いので取り付けること。

と指摘がありました。

①に対しては、速やかに新たに表示板を着けました。

②に対しては、屋上の雨漏りが原因であるため、漏水工事完了後に設置する予定です。

8. 地域交流

① じょうもん市場や製造したパンの販売に随時出店し、販売に参加した利用者は地域の方々と販売を通し交流した。

② 9月に国分海浜公園ボランティア清掃に利用者・従業者で参加し、地域貢献に汗を流した。

③ 9月に塚脇地区敬老会に出席し、交流を図った。

④ 9月に塚脇小学校合同運動会に参加し、交流を図った。

⑤ 10月に福山高校の生徒が来所され、レクリエーション等を通して交流を図った。（福山高校夢プラン）

⑥ 縄文の森のイベント5月春祭りと10月秋祭りに出店し、交流を図った。

⑦ 10月にハッピーフェスタバザーに出店し、交流を図った。

- ⑧ 11月に霧島ふるさと祭りに出店し、交流を図った。
- ⑨ 12月にイオンのサンタクロースの方々が来所され、交流を図った。
- ⑩ 2月に霧島市健康福祉まつりに出店し、交流を図った。
- ⑪ 3月に縄文の森駅伝大会に出店し、交流を図った。

9. 研修等

実施月	研修名	参加者数		
		施設長	事務	支援 スタッフ
4	県知的障害者福祉協会 総会	1		
5	施設実習連絡会			1
	社会福祉施設等新任職員研修会			1
	経営者セミナー	1		1
	さくらじまサポート評議員会		1	
	県相談支援ネットワーク会議			1
6	牧養ネットワーク会議			1
	安全運転管理協議会法定講習会		1	
	全国自閉症者施設協議会総会	1		
	全国知的障害関係施設長等会議	1		
	知的障害児・者関係施設 新任職員研修会			1
7	食品衛生講習会			1
	防火管理者資格取得講習会			1
	会計研修会		1	
	特定相談支援事業所会議			1
	九州地区施設職員研修会			4
8	マイナンバー制度説明会		1	
	就職面談会	1		2
9	人権擁護研修会			1
	社会保険事務研修会		1	
	強度行動障害支援者養成研修			2
	カウセリング研修			1
	相談支援従事者研修			2
	相談苦情解決研修			1
	経営者セミナー	1		
	全国日中活動支援部施設長会	1		
10	会計研修		1	
	相談支援従事者研修			1
	感染症予防対策研修			1

実施月	研修名	参加者数		
		施設長	事務	支援 スタッフ
1 1	九州地区障がい者 相談支援事業研修会			2
	強度行動障害支援者養成研修			2
	全国自閉症者施設協議会 全国大会			2
	全国日中活動支援部会 職員研修会	1		2
	サービス管理責任者 全体研修会			1
	九州地区知的障害関係 施設長研究大会	1		
	社会保険実務研修会		1	
	県知障協 施設職員研修会			1
	鹿児島県保健福祉大会	1		
	年末調整説明会		1	
1 2	九州・山口・四国 自閉症施設協議会 研修会	1		3
	サービス管理責任者研修会			2
	県知障協 施設長等研修会	1		
	退職共済制度研修会		1	
1	福祉に対する私たちの思い スピーチコンテスト	1		
	強度行動障害支援者養成研修			1
	自殺予防対策研修会			1
	障害者虐待防止・権利擁護 研修会			1
	県指導監査集団指導	1		
2	就職面談会	1		2
	社会福祉法人経営者大会		1	
	会計研修		1	
3	県知障協 各種別部会	1		
	県知障協 支援スタッフ部会			1
	介護職員チームリーダー研修			3

10. 会議

従業者の共通理解や課題解決等のために次のとおり会議等を行った。

① 朝礼・夕礼（毎日）

前日夜勤者の報告や当日の活動内容・利用者の状況等について各部署から報告や意見を出し合う。

② 企画会議（毎月）

施設長・事務長・サービス管理責任者・主任支援員・看護師・栄養士により次月の行事予定や全体会議への提議内容の検討を行う。

③ 全体会議（毎月）

開催時間の利用者見守り従業者以外の出勤従業者が参加し、企画会議での提議事項について報告・意見交換を行う。

④ 支援スタッフ会議（毎月）

利用者支援に関係する提議事項について報告・意見交換を行う。

⑤ 日中活動リーダー会議（随時）

各活動班リーダーで日中活動に関する提議事項について報告・意見交換を行う。

11. 相談苦情解決

1) 利用者・家族等からの相談苦情は次のとおりです。

① 利用者から施設の行事で毎年実施されていた旅行が今年は無いことに対する苦情があった。(対応：理事長に旅行が無いことへの苦情が出ていることを話すことで解決した。)

② 従業者の言葉遣いが悪いという苦情があった。(対応：従業者が謝罪し解決した。)

③ 食事の嫌いなものを減らして欲しいと相談があった。(対応：健康を考えての献立であることと行事食で対応することで解決した。)

④ アイスコーヒーが飲みたいと相談があった。(対応：健康面から医師や看護師が体調をみながら検討することで解決した。)

2) 第三者委員報告会を12月に実施し、実績・現状等を報告した。

12. 家族会

家族相互で利用者を支援する目的の家族会がその目的を達成するために事業所と連携し、家族の方々に役員会・総会・秋祭り等行事に参加していただいた。また、秋祭り・クリスマス会への利用者への補助金の提供を受けた。

家族並びに施設職員研修会へは3家族4名の参加があった。

1 3. 設備整備・修繕等

本年度において100万円を超える大規模な設備整備等はありません。
主な小規模実績は次のとおりです。

- ① 調理員用トイレ交換（約25万円）
- ② 火災通報装置取替（約35万円）
- ③ 男子浴室手すり取替（約21万円）

1 4. 総括

① 施設入所支援・生活介護

(ア) 平成27年度も前年度に引き続き利用定員を満たすことが出来なかった。2名の空床は女性用居室に限定されているが、待機者は男性ばかりであるため利用受入が出来ない状況である。

施設利用希望者及び家族への施設見学受入は実施しているが、実績に結びつかず、根気よく利用者確保に努力しなければならない。

今後も、引き続き行政関係機関、養護学校、各相談支援事業所などと情報交換をより親密にし、連携を取ることで解決を目指す。

(イ) 委託給食が本年度で終了するため、事業所給食の提供体制の早期確立と利用者のニーズを満足させる内容にするための従業者教育や利用者の意見聴取を積極的に実施しなければならない。

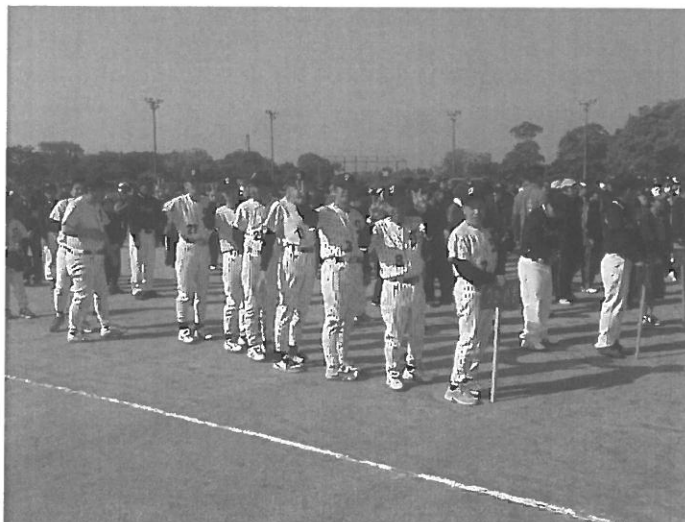
(ウ) 職員の資格取得（サービス管理責任者、相談支援従事者、強度行動障害支援者等）を強化し、サービスの質の向上と従業者配置の柔軟性を高めた。

② 短期入所

定員4名に対して生活介護利用者1名が、週に2回程度の利用実績である。利用延べ日数は前年度より増加しているが、新規利用者がいないことが引き続き課題である。

【行事等の様子】

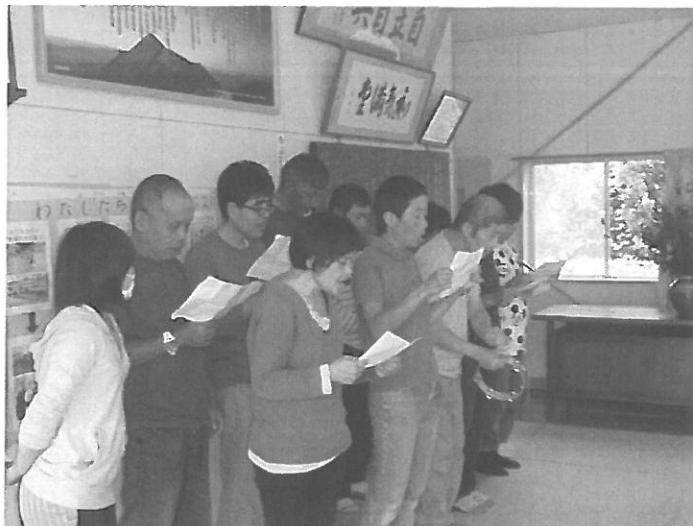
○ 施設親善球技大会



○ キャンプ



○ つかわき地区敬老会との交流



○ わくわく運動会



○ クリスマス会

